



元旦

『中小企業が元気なまち』『人の集まるまち』

鯖江商工会議所会報

頌春

平成三十二年元旦

新年のご挨拶



会頭

西村 新範

新年あけましてお目出とございます。
会員の皆様には、ご家族お揃いで新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年の日本経済は依然として厳しいものがあり、特に中小零細企業にとりましては、大幅な減収減益となり最悪の年であった様に思われます。

一方、政治面に於きましても昨年行われた衆議院議員選挙の結果、長く続いた自民党政権から民主党政権に交代と云う、歴史的な出来事となりました。
その賛否論は別として、日本の厳しい財政状況の中、公共工事を始めすべての国家予算が見直され、経済的には、決して明るい材料ではないように思われます。
この様な環境下にあつて、昨年は鯖江商工会議所創立五十周年と云う大きな節目の年でありました。

『輝け！伝承と変革』をテーマに、『鯖江ブランド』を県内外にアピールしようと、積極的に事業を展開してまいりました。
役員議員並びに会員各位のご支援とご協力により、滞りなく遂行する事が出来ました。改めて厚くお礼申し上げます。

本年は、鯖江商工会議所にとりまして、新たなスタートの年と云う気持ちで、引き続き「ものづくり」のまちとして、新商品の開発や新産業創出等に、特に支援してまいりたいと考えております。元来、鯖江には素晴らしい人材と技術がありますので、その人達のご活躍を期待しております。

また、『人の集まるまち』の事業推進については、先ず、中心市街地を従来とは違った角度から根本的に見直し、『鯖江街なか賑わいプラン』の実現に努力したいと考えております。

一方、産業観光との関連については、『つつじまつり』『もみじまつり』『誠市』『ご縁市』に加え、本年より「夜桜の夕べ」や西山公園に設置した「結びのチャイム」を観光スポットとして、また、めがね会館のリニューアルを機会に、観光の拠点としても大いに期待している所でありました。活動していきたくないと考えております。

次に、小規模企業の経営支援策として、本年一月より二年間余、鯖江市のご支援を得て、『鯖江市小規模企業経営支援機構』と、同じく四月より二年間『ものづくり支援機構』の両機構を会議所に設置し、積極的に皆様のご相談に応ずる体制をスタートさせていきますので、ご利用を期待しております。

本年度の主な方針を述べましたが、鯖江商工会議所としてやるべき課題は山積しております。何事もプラス思考で夢と希望を持って、会員の皆様のご期待にこたえていかなければならないと思っております。

何卒、会員の皆様の旧に倍してのご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。
結びに、皆様にとりまして本年がご健康で、ご繁栄の年であります様祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。